

JICA

AUの特使視察

日本の農機に高い関心示す

JICA（国際協力機構）の同行のもと、アフ

リカ連合（AU）の特使

でニジェール元首相のイ

ブラハム・アッサン・マ

ヤキ氏が11月10日、農研

機構農業機械研究部門

（さいたま市）の視察を

行った。マヤキ氏が日本

の農業機械に高い関心を

持っており、AFJICA

T関連の視察を希望した

ことから実現した。

マヤキ氏は、1997

年から2000年までニ

ジェール首相を務めたほ

か、2009年から20

22年までは、アフリカ

連台下のアフリカ開発庁

長官も務めている。

会場に到着し、始めに

マヤキ氏と農研機構安原

学所長が挨拶。安原所長

は、「我々の農業機械の

研究所を見て、参考にし

て欲しい」と述べた。

続いて研究推進部の梅

田直田部長が、農研機構

での業務・研究内容を説

明。説明を受けたマヤキ

氏から、「デジタルに弱

い人も使えるのか、導入

コストは？」といった質

問があり、梅田部長は「日

本も無人化などは少し

先。コスト面も含め国や

行政がどう支援していく

かが重要だ」と答えた。

その後、直進アシスト

コンバインや、安全キャ

プ・フレーム検査棟、農

機シミュレーションや歴史的

な農機具を展示した資料

館を見学。マヤキ氏は見

学後「今回見学した技術

をそのまま使うのはそう

簡単なことではないと思

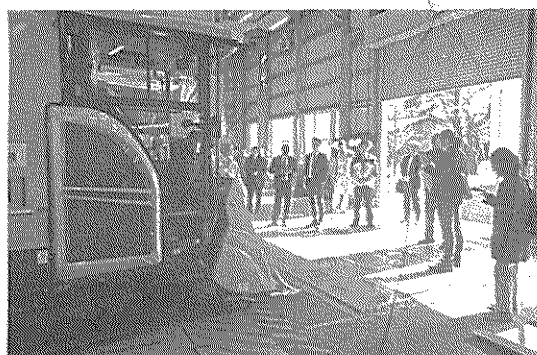
うが、得た知識を共有す

ることでさらなる発展に

結び付けたいと話した。



最新の技術などの説明を受けたマヤキ氏(右から2人目)



日本の先端技術に関心を寄せた

2023年12月5日
農村ニュース